

CH-1	シール工法	CH-2	樹脂注入工法	CH-3A	Uカットシール材充填工法	CH-3B	Uカットシール材充填工法
		手動式注入工法		自動式低圧注入工法			

補修範囲の確認

ひび割れ部の清掃

シール材の計量・混練

シール材の塗布

養 生

清 掃

自主検査

ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。

ひび割れ部に中心に幅50mm程度の表面をワイヤブラシ等で清掃する。

主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練する。

パテ状エポキシ樹脂をパテヤ等で幅10mm、厚さ2mm程度塗布し、平滑に仕上げる
可とう性エポキシ樹脂を使用する場合は、あらかじめプライマーを使用する。

シール材の硬化養生を行う。

シール材の硬化後、シール部以外の汚れ等を除去する。

シール材の仕上り状態およびあかたづけを確認する。

注記 1）挙動するひび割れには可とう性エポキシ、挙動しないひび割れにはパテ状エポキシ樹脂を使用する。

補修範囲の確認

ひび割れ部の清掃

注入孔位置決め

注入孔のせん孔

孔内の清掃

パテ状エポキシ樹脂の計量・混練

ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。

ひび割れ部に中心に幅50mm程度の表面をワイヤブラシ等で清掃する。

注入孔位置を下記の表によりスケール等で測定し、チョークなどでマーキングする。

ひび割れ幅（mm）	0.3以下	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0以上
注入孔の間隔（mm）	50～100	100～200	200～250	250～300

注入孔位置に電動ドリルで、15～30mm深さにせん孔する。（φ8～13mm）

せん孔しない場合は、圧金付き注入パイプを使用する。

孔内の切粉をブラシや圧縮空気で除去する。

主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練する。

注記 1）施工手順は、手動式注入工法を示す。
2）挙動するひび割れには軟質形、挙動しないひび割れには硬質形エポキシ樹脂を使用する。

補修範囲の確認

Uカット

孔内の清掃

プライマーの塗布

シール材の計量および混練

シール材の充填

ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。

ひび割れに沿って、幅10mm、深さ10～15mm程度のU字型の溝を設ける。

Uカット溝内部の切粉等をワイヤブラシ、剛毛等で除去し、清掃する。

プライマーを溝内部に塗染がないように均一に塗布する。

主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、気泡を巻き込まないよう充分混練する。計量は、可使時間内に使い切る量とする。

溝内にシール材をコーキングガンで、空隙や打残し等のないよう加圧しながら充てんし、表面を平滑に仕上げる。
※A工法の場合はシーリング材をコンクリート表面から3～5mm程度低めに充てんする。

仕上げ

養 生

清 掃

自主検査

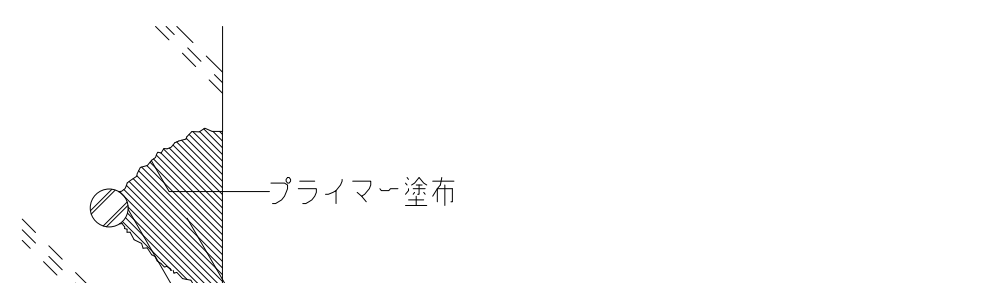
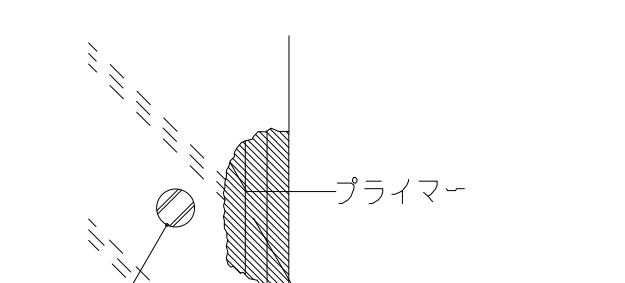
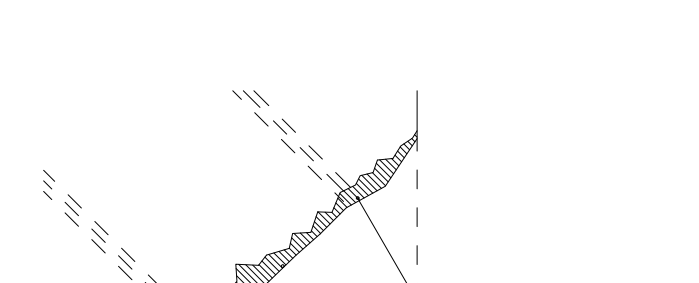
A工法：シーリング部はポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせ平滑に塗り込み仕上げる。

B工法：可とう性エポキシ樹脂の上に仕上塗材、塗料等を施す場合は、表面にけい砂を散布する。

シール材が硬化するまで損傷、汚染等のないようにする。また降雨等からも養生する。

シール部以外の汚れ等を除去し、清掃する。

シール材の仕上がり状態、硬化状態およびあかたづけを確認する。

CK-1	充填工法（エポキシ樹脂モルタル）	CK-2	充填工法（ポリマーセメントモルタル）	CK-3	底等の欠損部補修工法
 プライマー塗布 エポキシ樹脂モルタル 鉄筋が露出している場合は錆の除去を行い、防錆剤を塗布する		 プライマー ポリマーセメントモルタル 鉄筋		 エポキシ樹脂モルタル	

補修範囲の確認	作業内容	補修範囲の確認	作業内容	補修範囲の確認	作業内容
下地処理	欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。	下地処理	欠損部の脆弱部分などをはつり取った後、ほこり等を除去して清浄で強いコンクリート下地を出す。	下地処理・ケレン	欠損部の脆弱部分などをはつり取った後はほこり等除去して清浄で強い下地を出す。
ケレン清掃	浮き錆はワイヤブラシやサンダーでケレン清掃する。	ケレン清掃	鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。	プライマー塗布	防錆のためエポキシプライマーを塗布する。剛毛で十分に浸透させながら行う。
プライマー塗布	防錆のためエポキシプライマーを塗布する。剛毛で十分に浸透させながら行う。	プライマーの調整・塗布	仕様に沿ったプライマーの調整を行う。	エポキシ樹脂 EPAの計量・混練	主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、十分に混練する。
エポキシ樹脂 EPAの計量・混練	主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、十分に混練する。	プライマーの調整・塗布	プライマーを被着面に塗り残さないように塗布する。	エポキシ樹脂 モルタルの充填	プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押え込みながら充てんする。
エポキシ樹脂 モルタルの充填	プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押え込みながら充てんする。	プライマーの調整・塗布	鉄筋が露出している場合は防錆剤を塗布してからプライマーを塗布する。	表面仕上げ	表面を金ゴテ等で充分押えて、なだらかに仕上げる。
		表面仕上げ	表面を金ゴテ等で充分押えて、平滑に仕上げる。	養生	エポキシ樹脂モルタルが硬化するまでは（24時間以上）損傷、汚染のないようにし、また雨水等からも養生する。
		養生	エポキシ樹脂モルタルが硬化するまでは（24時間以上）損傷、汚染のないようにし、また雨水等からも養生する。	清掃	補修部以外の汚れを除去、清掃する。
		清掃	補修部以外の汚れを除去、清掃する。	自主検査	モルタルの仕上がり状態、硬化状態およびあとかたづけを確認する。
		自主検査	エポキシ樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態およびあとかたづけを確認する。		

		事務所登録 株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号		作成日	設計工番	件 名 三浦市勤労市民センター改修工事	区 分	番 号 A-09	
	株式会社一級建築士事務所 DEN-A	建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号 田中 克樹	査図	担当	作図	図面名称 外壁の改修方法			縮 尺 N. S

特記事項

【アスベスト含有仕上塗材・下地調整材除去工事】

施工前

- (1) 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課/環境省水・大気環境局大気環境課
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（最新版）」（以下マニュアル）により、下記工法の併用工法とする。
【一般部】 (7) (湿式) 集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式
【狭あい部】 (4) (湿式) 集塵装置併用手工具ケレン工法または剥離剤併用手工具ケレン工法
- (2) 石綿除去処理工事に際しては、通常の工事と異なる側面があるため、工事の特殊性を十分確認した上で、専門業者で行うこと。ここでいう専門業者とは、建設技術審査証明（（財）日本建築センター）により確立された、「石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術」を取得している業者のことを指す。

施工中

(3) 本施工は以下の項目を遵守して行うこと。

項目	特記仕様	管理方法																					
工事計画	「特定石綿含有建材調査者」の参画を前提とする。																						
吸引機の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 風量	-20～-25kPa 3. 66m53/分 撮影 臨機に仕様書提出																					
吸引時の排気濾過	HEPAフィルター	撮影																					
水処理（濁水処理内容）	凝集剤を使用し固化	撮影																					
アスベスト粉じん濃度測定	速報値で管理値（10本/L以下）を満たしていることを確認する。																						
	<table><tr><td>測定時期</td><td>測定箇所</td><td>測定時間</td></tr><tr><td>作業前</td><td>敷地境界 4方向各1点 計4点</td><td>240分</td></tr><tr><td>作業中</td><td>敷地境界 4方向各1点</td><td>240分</td></tr><tr><td></td><td>プラント設置付近 1点</td><td>120分</td></tr><tr><td></td><td>除去作業付近 1点 計6点</td><td>120分</td></tr><tr><td>作業後</td><td>敷地境界 4方向各1点 計4点</td><td>240分</td></tr><tr><td></td><td></td><td>合計14点</td></tr></table> 第三者機関にて測定	測定時期	測定箇所	測定時間	作業前	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分	作業中	敷地境界 4方向各1点	240分		プラント設置付近 1点	120分		除去作業付近 1点 計6点	120分	作業後	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分			合計14点	
測定時期	測定箇所	測定時間																					
作業前	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分																					
作業中	敷地境界 4方向各1点	240分																					
	プラント設置付近 1点	120分																					
	除去作業付近 1点 計6点	120分																					
作業後	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分																					
		合計14点																					
廃材処理	(1) HEPAフィルター付き吸引装置を使用した同時吸引式工法により外気に触れることなく密閉状態で安全に集積する。 (2) 集積した濁水・塗膜は凝集剤を使用し固化した後、プラスチック袋（0. 15mm以上）で2重梱包する。	撮影																					
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 除去したアスベスト含有材等を搬出するまでの間現場に保管する場合は、石綿含有産業廃棄物として一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管する。 (2) 一時保管場所はシートで覆うなどの飛散対策を講じ、アスベスト含有材等の保管場所であることを掲示する。 (3) アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4) 運搬車の荷台には覆いをかけるなど飛散防止措置を講じる。 (5) 除去したアスベスト含有材の処分はマニュアル基準にて適正に最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する。	撮影																					

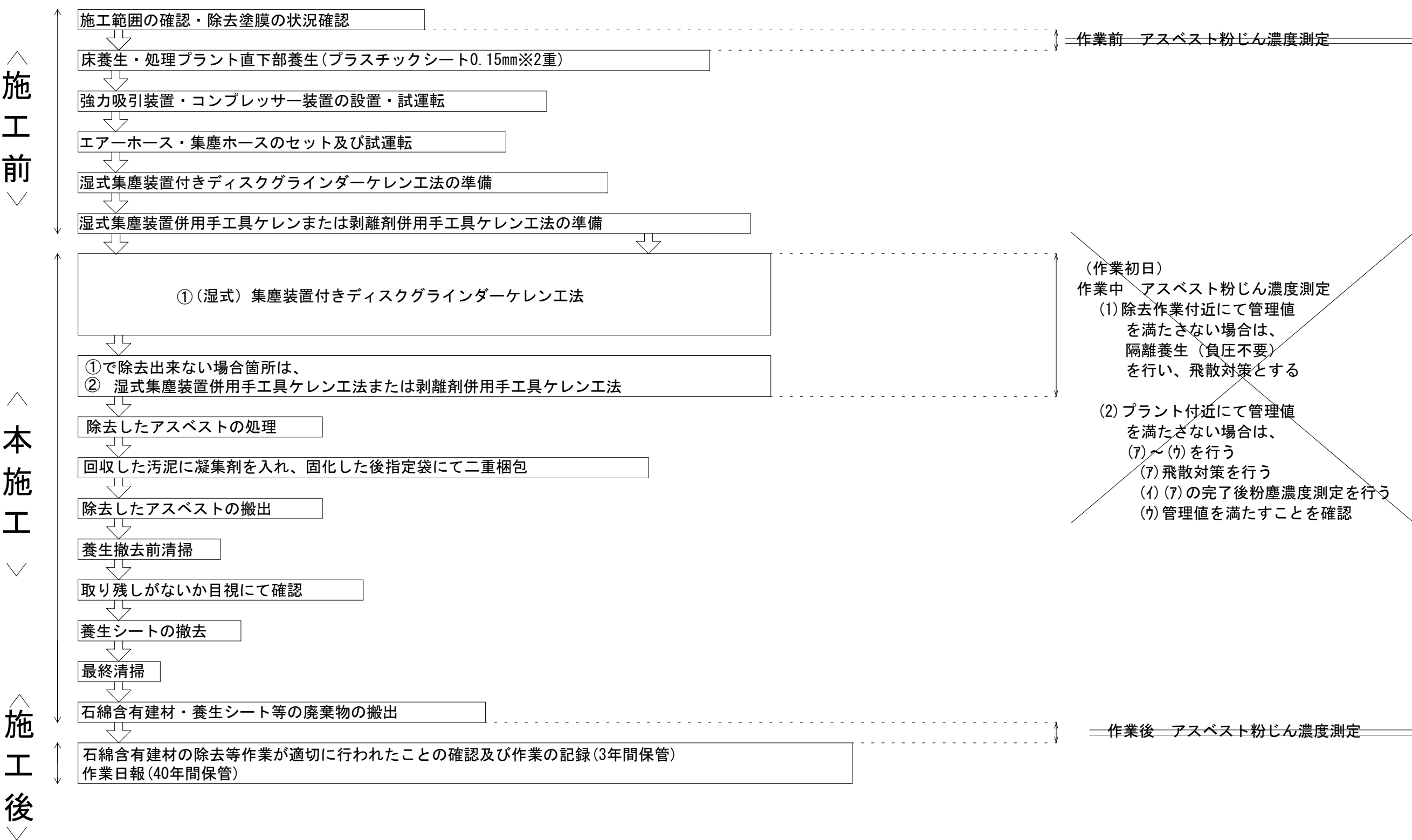
施工後

(4) 特記仕様に記載された以下の項目は施工完了後報告書として提出すること。

項目	特記仕様	報告方法
吸引時の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 風量	写真 臨機に仕様書提出
吸引時の排気濾過	HEPAフィルター	写真
水処理（濁水処理内容）	凝集剤を使用し固化	写真
アスベスト粉じん濃度測定	管理値（10本/L）以下	第三者機関の報告書
廃材処理	(1) 飛散防止状況 (2) 二重梱包状況	写真 写真
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 一時保管庫での保管状況 (2) 一時保管庫および看板設置状況 (3) 石綿含有産業廃棄物搬出状況 (4) 石綿含有産業廃棄物シート掛け状況 (5) 石綿含有産業廃棄物最終処分場	写真 写真 写真 写真 写真

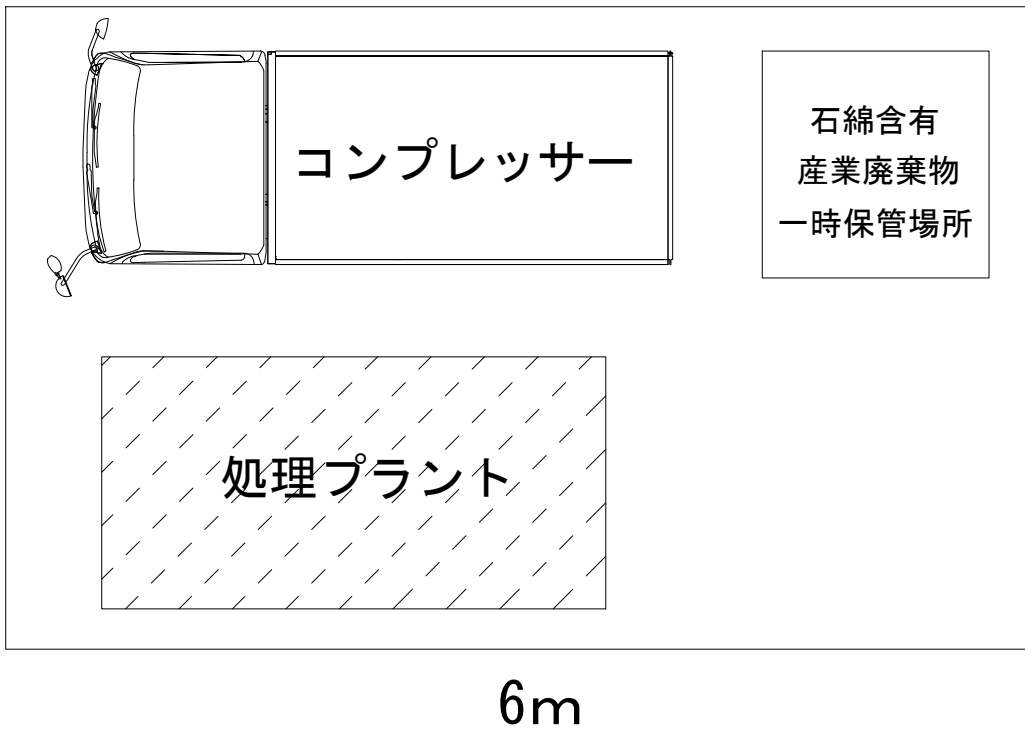
- (5) 石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録
石綿の取り残しがないこと等の確認・記録の手順として、マニュアルの4. 15 (p. 225) に従って行う。
・ 4. 15. 1 作業が適切に行われたこと等の確認の流れ
・ 4. 15. 2 作業の記録、確認及び記録の保存
・ 4. 15. 3 石綿の取り残しがないこと等の確認方法
・ 4. 15. 5 発注者への報告

【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】



【同時吸引式プラント設置例（平面図）】

- (1) 機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。
(2) 機材設置位置は縦に 1 列縦列も可能。



内はこぼれ対策としてプラスチックシート等敷く（ろ過装置直下部・ノッチタンク直下部など）

特記事項
(湿式) 集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法施工エリアの内部階段及び廊下の床には養生プラスチックシートを敷きならべること。

		事務所登録 株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号		作成日	設計工番	件 名 三浦市勤労市民センター改修工事	区 分	番 号
	株式会社一級建築士事務所	DEN-A	建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号 田中 克樹	査図	担当	作図	図面名称 アスベスト処分特記仕様書	A-10
						縮 尺 N.S		

外 部 仕 上 表				
屋根	コンクリートクレーン作業用土上 塩ビシート防水 225 PS・OS厚板へ 防水モルタル全面吹付作業		屋根	破損部にビニル葺(VEP) 100 ^φ 75 ^φ 塩ビビニルライニング塩葺 75 ^φ 補修金物へ 18.20×50 ステンレス鋼 田1200円外
外壁 柱間 腰壁	小口黒帯タイル貼 コンクリート吹付シタ地盤調整土上 エポキシ樹脂吹付タイル		補修材	コンクリート既製品 360 ^φ 窓：CR-43 6.9
外周木	小口黒帯タイル貼 コンクリート吹付シタ地盤調整土上 エポキシ樹脂吹付タイル		建具	アルミ樹脂複層1470ロン（シルバー、カラー）、 ステン（耐油性樹脂）
屋上平間	ステンレス鋼 50×304		外階段 A	鉄板 200 ^φ 防水モルタル全面吹付 段間木：防水モルタル全面吹付 手摺壁：コンクリート吹付シ エポキシ樹脂吹付タイル
バルコニー	床：モルタル防水全面吹付 巾木：モルタル防水全面吹付 内階段：コンクリート吹付シタ地盤調整土上 エポキシ樹脂吹付タイル		外階段 B	鉄板 200 ^φ 防水モルタル全面吹付 段間木：防水モルタル全面吹付 手摺壁：コンクリート吹付シ エポキシ樹脂吹付タイル
軒張	コンクリート吹付シタ地盤調整土上 アクリルリシン吹付 フレキシブルボード 2号 塩ビシ VE 小口黒帯タイル貼			
ルーフトレイソ	タテ型ルーフトレイソ 100 ^φ 75 ^φ 横引ルーフトレイソ 100 ^φ 75 ^φ			

※外部：アスベスト含有建材：アクリルリシン吹付及びフレキシブルボード（見なし）とする。
 なお、外壁吹付タイルはアスベスト非含有とする。

※内部：アスベスト含有建材：吹付タイル、フレキシブルボード・岩綿吸音板・石こうボード等のボード類（見なし）、
 塩ビシート（見なし）、ビニルクロス（見なし）とする。

内 部 仕 上 表																	
天井高	室名	床	装飾	巾木	装飾	H	壁	装飾	壁	装飾	天井	装飾	柱頭	装飾	扉	装飾	備 考
2.6	被験室	破損部を補修100 ^φ タイル貼					破損部にガラス（エポキシ樹脂等品）215		破損部を補修215（11714）219 床張：石こうボード219		破損部を補修215（11714）219 床張：石こうボード219		破損部を補修215（11714）219 床張：石こうボード219				全上
2.6	事務室	長尺塩ビシート貼 225		ビニル巾木		100	モルタル全面吹付 ビニルクロス貼		見違ポリウレタン・石こうボード220 両面貼 土上 ビニルクロス貼		見違ポリウレタン・石こうボード220 両面貼 土上 ビニルクロス貼		見違ポリウレタン・石こうボード220 両面貼 土上 ビニルクロス貼				アライントボックス 壁色乳 行巻吸板 アライント
2.6	青年社会職業相談室	全上		全上		100	全上		全上		全上		全上				アライントボックス 壁色乳 アライント
3.7	相談室	モルタル全面吹付 目地色		モルタル全面吹付		100	ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250				壁色乳
2.6	ギョウブ	長尺塩ビシート貼 225					破損部にガラス（エポキシ樹脂等品）215		破損部を補修219 床張：石こうボード219		破損部を補修219 床張：石こうボード219		破損部を補修219 床張：石こうボード219				アライントボックス 石こうボード・レール アライント
2.6	ホール	全上					全上		破損部を補修219（11714）219 床張：石こうボード219		破損部を補修219（11714）219 床張：石こうボード219		全上				廊内床・廊下床
2.24	E1 相談室	防水モルタル全面吹付		防水モルタル全面吹付		100	ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250				壁色乳
3.4	砂化前相談室	防水モルタル全面吹付		防水モルタル全面吹付		100	ガラスウールボード貼（V・シム）250 （一部石こうボード全面吹付）		ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250				壁色乳
2.35	待合前点検スペース	コンクリート吹付シ		モルタル全面吹付		100	モルタル全面吹付 コンクリート吹付シ		コンクリート吹付シ		コンクリート吹付シ		コンクリート吹付シ				
2.35	ビスト	モルタル全面吹付					全上		コンクリート吹付シ		コンクリート吹付シ		モルタル全面吹付		モルタル全面吹付		
2.45	和 室	装飾 和紙 床張：長尺塩ビシート貼 225		和紙・ビニル巾木		100	見違ポリウレタン・石こうボード220 両面貼 石こうボード220 ビニルクロス貼		化粧石こうボード（桐板アライント）								壁色乳 下入れ
2.65	待合前相談室	長尺塩ビシート貼 225		ビニル巾木		100	全上		破損部を補修219 床張：石こうボード219		破損部を補修219 床張：石こうボード219		モルタル全面吹付 220				壁色乳・アライントボックス 和紙吸板 塩ビシート
3.1	大会議室	長尺塩ビシート貼 230		ビニル巾木		100	石こうボード全面吹付 ビニルクロス貼		石こうボード全面吹付 ビニルクロス貼		破損部を補修215（11714）219 床張：石こうボード219 全上		全上				壁色乳・破損部ボックス スライディングウォール 破損部
3.1	会議室	長尺塩ビシート貼 225		ビニル巾木		100	見違ポリウレタン・石こうボード220 両面貼 土上 ビニルクロス貼		破損部を補修219 全上		破損部を補修219 全上		全上				壁色乳 破損部ボックス 破損部カーテン
3.3～3.8	舞台	長尺塩ビシート貼 230		ビニル巾木		100	全上		25 フレキシブルボード全面吹付 ビニルクロス貼								壁色乳
2.4	控室	長尺塩ビシート貼 225		ビニル巾木		100	全上		破損部を補修219 全上		破損部を補修219 全上		全上				壁色乳・破損部ボックス 破損部カーテン
2.4	待合前	長尺塩ビシート貼 225		ビニル巾木		100	両面吸音板 100 ^φ タイル貼		破損部を補修215（11714）219 床張：石こうボード219		破損部を補修215（11714）219 床張：石こうボード219		両面吸音板 100 ^φ タイル貼				壁色乳
2.45	母子・女子便所	破損部を補修219タイル貼 19 ^φ					両面吸音板 100 ^φ タイル貼		25 フレキシブルボード全面吹付		25 フレキシブルボード全面吹付		VE 破損部を補修100 ^φ タイル貼				壁色乳
2.4	利用者便所	長尺塩ビシート貼 225		ビニル巾木		100	両面吸音板 100 ^φ タイル貼		全上								壁色乳
2.4	相談室	長尺塩ビシート貼 225		ビニル巾木		100	モルタル全面吹付	VE	25 フレキシブルボード全面吹付 ステンレス板貼	VE							壁色乳・床張・コンクリート 床下床
3.55	倉庫	全上		全上		100	モルタル全面吹付		スライディングウォール 230 付		モルタル全面吹付		コンクリート吹付シ				壁色乳 床下床
3.55	資料相談室	モルタル全面吹付 目地色（破損部吹付）		モルタル全面吹付		100	ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250		ガラスウールボード貼（V・シム）250				壁色乳
2.5	ホール	長尺塩ビシート貼 225		ビニル巾木		100	モルタル全面吹付 破損部吹付タイル		破損部を補修215（11714）219 床張：石こうボード219		破損部を補修215（11714）219 床張：石こうボード219						石こうボード・レール アライント アライントボックス
2.7	倉庫	全上		全上		100	見違ポリウレタン・石こうボード220 両面貼 土上 ビニルクロス貼		全上				モルタル全面吹付 ビニルクロス貼				壁色乳 スライディングウォール 破損部ボックス 破損部
3.55	倉庫	モルタル全面吹付 目地色		モルタル全面吹付 目地色		100	コンクリート吹付シ		スライディングウォール 230 付								壁色乳
2.6	相談室	長尺塩ビシート貼 225		ビニル巾木		100	見違ポリウレタン・石こうボード220 両面貼 土上 ビニルクロス貼		破損部を補修219 床張：石こうボード219		破損部を補修219 床張：石こうボード219		モルタル全面吹付 ビニルクロス貼				壁色乳 アライントボックス アライント
2.6～4	読書作業室	全上		全上		100	全上		全上		全上		全上				壁色乳 アライントボックス アライント
2.4	市営室	全上		全上		100	モルタル全面吹付	VE	化粧石こうボード219								壁色乳 カーテンボックス カーテン
2.4	調音室	全上		全上		100	全上		25 フレキシブルボード全面吹付 ステンレス板貼	VE							壁色乳 床張・コンクリート
2.45	便所	破損部を補修219タイル貼 19 ^φ					両面吸音板 100 ^φ タイル貼		25 フレキシブルボード全面吹付	VE	破損部を補修100 ^φ タイル貼						壁色乳
2.5	ホール	長尺塩ビシート貼 225		ビニル巾木		100	モルタル全面吹付 破損部吹付タイル		破損部を補修215（11714）219 床張：石こうボード219		破損部を補修215（11714）219 床張：石こうボード219						
2.65	階段	全上		モルタル全面吹付 目地色	VE	100	モルタル全面吹付 破損部吹付タイル		全上		破損部を補修219 床張：石こうボード219						
2.5	廊下	全上		ビニル巾木		100	全上		全上		全上						

 ：仕上げの改修対象室を示す

ビニルクロス貼付 石こうボード・レール・ボード全面吹付（212）
 破損部を補修 219 タイル吹付 230
 ビニルクロス貼 破損部吹付タイル

		事務所登録 株式会社一級建築士事務所（県）登録 第17554号		作成日	設計工番	件 名	区 分	番 号
		建築士登録 一級建築士（大臣）登録 第170642号 田中 克樹	査図	担当	作図	三浦市勤労市民センター改修工事		A-11
	株式会社一級建築士事務所 DEN-A					図面名称 既存仕上表	縮 尺 N.S	

外 部 仕 上 表						
部 位	改 修 前	改 修 後（仕様は特記及びA-20による）	部 位	改 修 前	改 修 後	
屋根	[(コンクリートタッピング押えの上) S防水 t2.5]撤去 [(コンクリートタッピング押えの上改A防水 t2.5)]笠木及び立ち上がりのみ撤去 PS.DS屋根: [防水M金ゴテ押え]撤去	[(コンクリートタッピング押えの上) 改A防水]新設 [(コンクリートタッピング押えの上改A防水 t4)改A防水]かぶせ工法にて新設 PS.DS屋根: [ウレタン防水]新設	ルーフドレン	[(タテ型ルーフドレン100Φ、75Φ)] [(横引きルーフドレン100Φ、75Φ)]	[(タテ型ルーフドレン100Φ、75Φ) 改修用ドレン]新設 [(横引きルーフドレン100Φ、75Φ) 改修用ドレン]新設	
外壁、柱型、梁型	[(小口窯変タイル貼)] [(打放し)下地調整の上 エポキシ系吹付タイル]撤去	[(小口窯変タイル貼)]高圧洗浄 [(打放し)下地調整の上 吹付タイル]新設	縦樋	既存のまま	[(VP管100Φ、75Φ)]DP塗装、 [(塩化ビニールライニング鋼管75Φ)]DP塗装 樋受金物: 既存のまま	
外巾木	[(小口窯変タイル貼)] [(打放し)下地調整の上 エポキシ系吹付タイル]撤去	[(小口窯変タイル貼)]高圧洗浄 [(打放し)下地調整の上 吹付タイル]新設	樋受桝	既存のまま	-	
屋上手摺	既存のまま	清掃	建具	既存のまま	建具表による	
バルコニー	床: 既存のまま、 巾木: 既存のまま 内腰壁: [(打放し)下地調整の上 エポキシ系吹付タイル]撤去	床: 高圧洗浄、 巾木: 高圧洗浄 内腰壁: [(打放し)下地調整の上 吹付タイル]新設	外階段A	踏込・踏面: 既存のまま 手摺壁: [(打放し)下地調整の上 エポキシ吹付タイル]撤去	踏込・踏面: - 手摺壁: [(打放し)下地調整の上 吹付タイル]新設	
軒裏	[(打放し)下地調整の上 アクリルリシン吹付]撤去、 [フレキシブルボード t5 目透かし V.E LGS含む]撤去、[(小口窯変タイル貼)]	[(打放し)下地調整の上 吹付タイル]新設 [フレキシブルボード t5 目透かし DP塗装 LGS含む]新設、[(小口窯変タイル貼)]高圧洗浄	外階段B	踏込・踏面: 既存のまま 手摺壁: [(打放し)下地調整の上 エポキシ吹付タイル]撤去	踏込・踏面: - 手摺壁: [(打放し)下地調整の上 吹付タイル]新設	

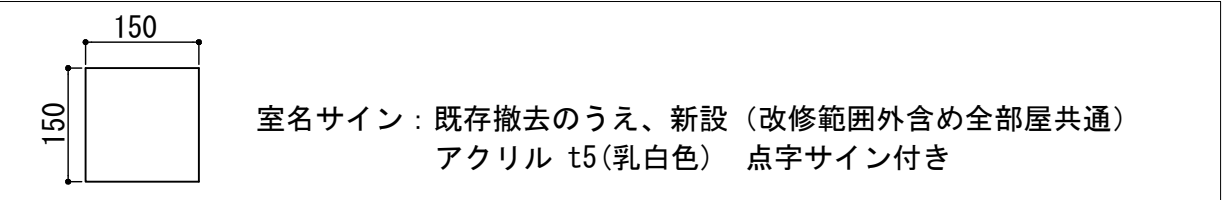
内 部 仕 上 表																
階	室名	床		巾木		壁		柱型		天井		廻り縁		備考		
		改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後			
1階	事務室	既存のまま	－	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC(*)] 撤去	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC] 新設	[(M金ゴテ)+VC(*)]撤去	[(M金ゴテ)+VC]新設	[DR t9(*)]撤去	[DR t9]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設		
	高齢者職業相談室	既存のまま	－	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC(*)] 撤去	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC] 新設	[(M金ゴテ)+VC(*)]撤去	[(M金ゴテ)+VC]新設	[DR t9(*)]撤去	[DR t9]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設		
	ギャラリー	既存のまま	－	既存のまま	－	－	既存のまま	－	既存のまま	－	[DR t9(*) 捨貼: GB-R t9(*)]撤去	[DR t9 捨貼: GB-R t9.5]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設		
	ホール	[LVS t2.5(*)]撤去	[LVS t2.5]新設	既存のまま	－	－	既存のまま	－	既存のまま	－	[DR t15 リブ付き t9(*) 捨貼: GB-R t9(*)]撤去	[DR t9 捨貼: GB-R t9.5]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設	ピクチャーレール撤去・新設	
2階	和室	[(板畳)、下地板t15+畳敷]撤去 踏込: 既存のまま	[(板畳)、下地板t15+畳敷]新設 踏込: 既存のまま	既存のまま	－	－	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC(*)] 撤去、[(GB-R t12.5)+VC(*)]撤去	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC] 新設、[(GB-R t12.5)+VC]新設	/	/	[GB-D t9(*) (LGS含む)]撤去	[GB-R t9.5 (LGS含む)+VC]新設	/	/		
	料理講習室	既存のまま	－	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC(*)] 撤去、[(GB-R t12.5)+VC(*)]撤去	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC]新 設、[(GB-R t12.5)+VC]新設			[(M金ゴテ)+VC(*)]撤去	[(M金ゴテ)+VC]新設			[DR t9(*) 捨貼: GB-R t9(*)]撤去	[DR t9 捨貼: GB-R t9.5]新設
	大会議室	既存のまま	－	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(GB-R t12.5)+VC(*)]撤去	[(GB-R t12.5)+VC]新設	[(M金ゴテ)+VC(*)]撤去	[(M金ゴテ)+VC]新設	[DR t15 リブ付き t9(*) 捨貼: GB-R t9(*)]撤去 [光天井(アクリル板及び枠)]取外	[DR t15 リブ付き t9 捨貼: GB-R t9.5]新設 [光天井(アクリル板及び枠)]再取付	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設		
	放送室	既存のまま	－	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC(*)] 撤去	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC] 新設	[(M金ゴテ)+VC(*)]撤去	[(M金ゴテ)+VC]新設	[DR t9(*)]撤去	[DR t9]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設		
	舞台	既存のまま	－	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC(*)] 撤去	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC] 新設	/	/	[フレキシブルボード t5(*)+VC]撤去	[フレキシブルボード t5(*)+VC]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設		
	控室	既存のまま	－	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC(*)] 撤去	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC] 新設			[(M金ゴテ)+VC(*)]撤去	[(M金ゴテ)+VC]新設	[DR t9(*)]撤去	[DR t9]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設
	洗面所															別紙参照
	男子・女子便所															別紙参照
	身障者便所															別紙参照
	湯沸室	[LVS t2.5(*)]撤去	[LVS t2.5]新設	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	既存のまま	－	/	/	既存のまま	－	既存のまま	－		
	ホール	[LVS t2.5(*)]撤去	[LVS t2.5]新設	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(M金ゴテ)弾性吹付タイル(*)]撤去	[(M金ゴテ)EP塗装]新設			[DR t15 リブ付き t9(*) 捨貼: GB-R t9(*)]撤去	[DR t9 捨貼: GB-R t9.5]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設	ピクチャーレール撤去・新設	
3階	会議室	既存のまま	－	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC(*)] 撤去	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC] 新設	[(M金ゴテ)+VC(*)]撤去	[(M金ゴテ)+VC]新設	[DR t15 リブ付き t9(*) 捨貼: GB-R t9(*)]撤去	[DR t9 捨貼: GB-R t9.5]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設		
	談話室	既存のまま	－	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC(*)] 撤去	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC] 新設	[(M金ゴテ)+VC(*)]撤去	[(M金ゴテ)+VC]新設	[DR t9(*) 捨貼: GB-R t9(*)]撤去	[DR t9 捨貼: GB-R t9.5]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設	ピクチャーレール撤去・新設	
	健康管理室	既存のまま	－	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC(*)] 撤去	[(発砲ポリウレタン+GB-R t20複合板)+VC] 新設	[(M金ゴテ)+VC(*)]撤去	[(M金ゴテ)+VC]新設	[DR t9(*) 捨貼: GB-R t9(*)]撤去	[DR t9 捨貼: GB-R t9.5]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設		
	便所														別紙参照	
	ホール	[LVS t2.5(*)]撤去	[LVS t2.5]新設	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(M金ゴテ)弾性吹付タイル(*)]撤去	[(M金ゴテ)EP塗装]新設			[DR t15 リブ付き t9(*) 捨貼: GB-R t9(*)]撤去	[DR t9 捨貼: GB-R t9.5]新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設		
共通	階段室	[LVS t2.5(*)]撤去	[LVS t2.5]新設	[(M金ゴテ目地分)VE塗装]撤去	H=100 [(M金ゴテ目地分)EP塗装]新設	H=100	[(M金ゴテ)弾性吹付タイル(*)]撤去	[(M金ゴテ)EP塗装]新設			既存のまま	－	既存のまま	－	点字タイル撤去・新設 塩ビ手摺: 取外・再取付	
	廊下	[LVS t2.5(*)]撤去	[LVS t2.5]新設	[軟V]撤去	H=100 [軟V]新設	H=100	[(M金ゴテ)弾性吹付タイル(*)]撤去	[(M金ゴテ)EP塗装]新設			[DR t9(*) 捨貼: GB-R t9(*) (一部LGS含む)] 撤去	一部[DR t9、捨貼: GB-R t9.5 (一部LGS含む)] 新設	[塩ビ]撤去	[塩ビ]新設	塩ビ手摺: 取外・再取付 壁面保護材及び塩ビ手摺: 取外・再取付	

※（ ）内の仕様は既存利用の仕様を示す。

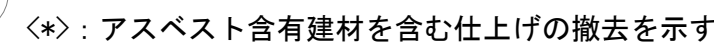
※天井：既存LGSの撤去・新設・既存利用については天井伏図による。

（*）：撤去する既存のアスベスト含有建材（ボード類は見込み）とする。

例				一般事項															
打放し M A防水 改A防水 P防水 S防水 LVS 軟V	コンクリート打放し仕上げ	GB-R	せっこうボード	・ NM-8619 (不燃) 12.5mm厚 ・ QM-9828 (準不燃) 9.5mm厚 ・ NM-9639・9346 (不燃) ・ QM-9826 (準不燃) ・ NM-1908・1139 (不燃) ・ NM-8615 (不燃) ・ QM-9824 (準不燃) ・ NM-0441, 0296 (不燃) ・ NM-8599 (不燃)	けいカル板	けい酸カルシウム板 (タイプ 2) (無石綿セメントけい酸カルシウム板)	・ NM-8578 (不燃) ・ NM-8424 (不燃) 6mm厚 ・ NM-9888～9954 (不燃) ・ QM-9501～9571 (準不燃)	SOP CL NAD DP EP EP-G OS WP UC LE	合成樹脂調合ペイント塗り	内装仕上材料	特記なき限り内装材料は、ホルムアルデヒド 放散等級がF☆☆☆☆を使用する。 特記なき部分の模様替に伴う補修及び、 破損箇所の補修は既存仕上にならない補修する。 仕上表には、各室の代表的な仕上が記入されている。 仕上がが2種類以上ある場合の各仕上と適用範囲は 一般図参照のこと。	撤去の範囲	幅木	改修に伴う撤去の範囲は最小限に止めるものとする。 特記なき限り〈2-11-1〉h=100とする。 特記なき限り〈3-01-4〉による。					
	モルタル		シーリングせっこうボード			化粧けい酸カルシウム板			クリヤラッカー塗り										
	アスファルト防水	GB-S	－			化粧けい酸カルシウム板			アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り										
	改質アスファルトシート防水					ビニールクロス			DP										
	塗膜防水	GB-H	普通硬質せっこうボード			－			合成樹脂エマルションペイント塗り										
S防水	シート防水	GB-F	強化せっこうボード	GB-NC (T) 不燃積層せっこうボード (トラパーチン模様)	DR	UF材 GW-B/GC RW PF材	現場発泡吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 グラスウールボード ガラスクロス張り ロックウール吹付 押出法ポリスチレンフォーム保温板	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	仕上の記入			柱、梁の 仕上げ	特記なき、柱及び梁の仕上は当該各室の 壁仕上及び天井仕上による。						
	－	GB-D	化粧せっこうボード					－							オイルステイン塗り				
…国交省営繕部監修 建築工事標準詳細図																			
株式会社一級建築士事務所 DEN-A								事務所登録 株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号				作成日	設計工番		件 名 三浦市勤労市民センター改修工事	区 分	番 号 A-12		
								建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号		担当	作図								
								田中 克樹											
								田中 克樹											
								田中 克樹		縮 尺			N.S						

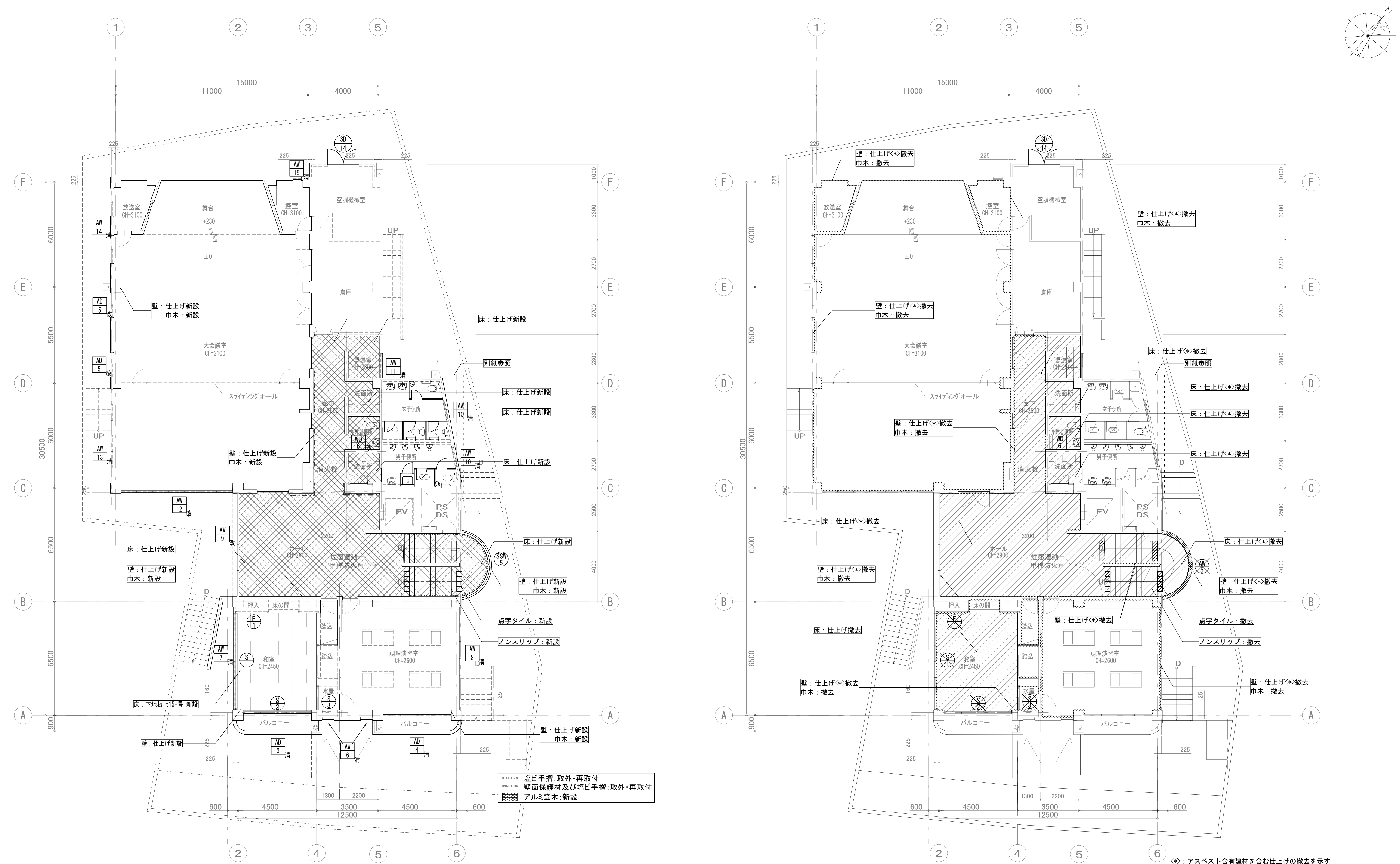


株式会社一級建築士事務所 DEN-A

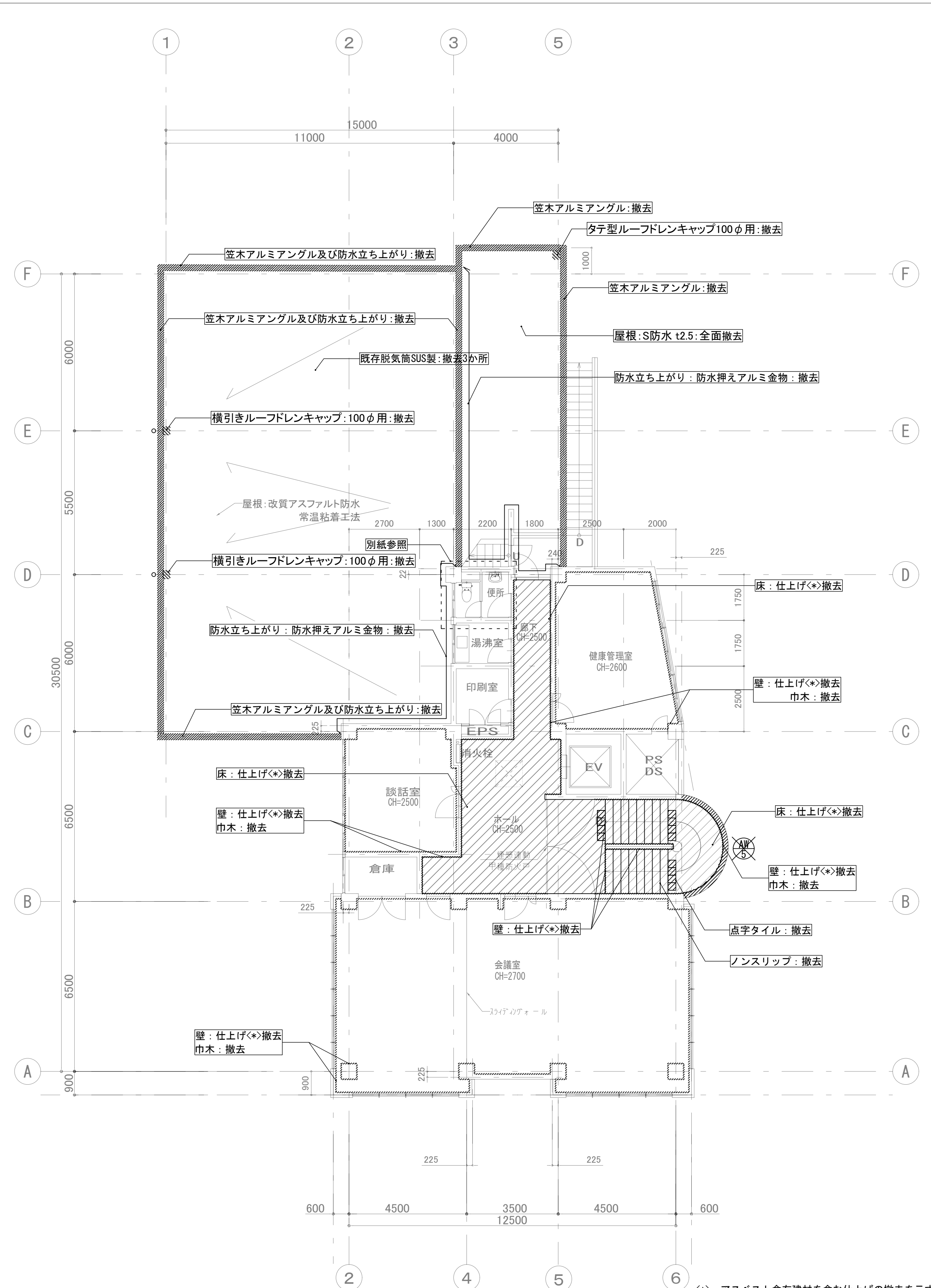
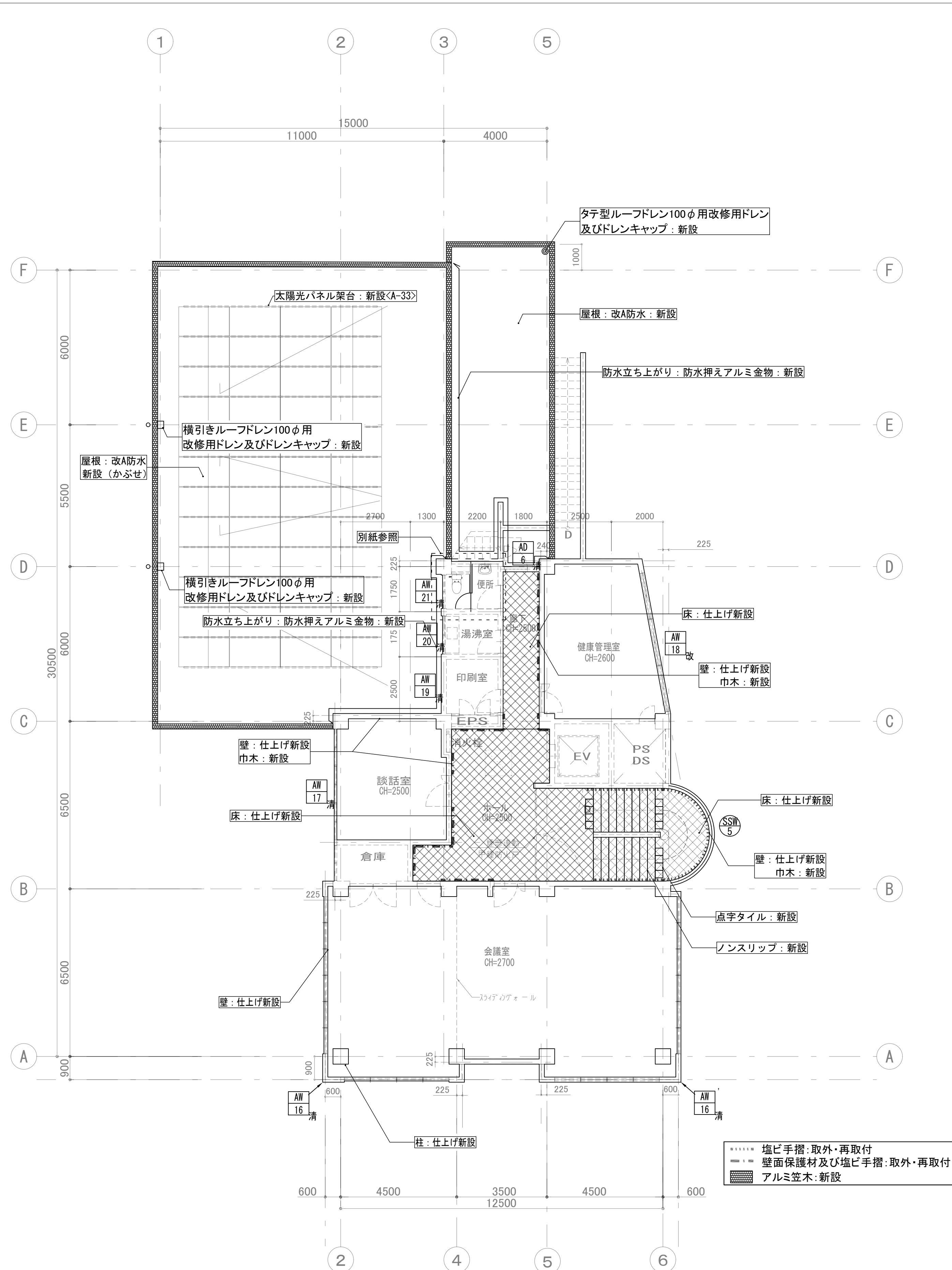


S=1/200 (A3)

仕上げの仕様は、仕上表【A-12】及び特記仕様材料表【A-20】を参照とする。		事務所登録 株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号 建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号 田中 克樹		作成日		設計工番		件 名		区 分	番 号
								三浦市勤労市民センター改修工事			
株式会社一級建築士事務所 DEN-A				査図	担当	作図	図面名称	縮 尺 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)			
						1階平面図 (改修後・前)					A-13

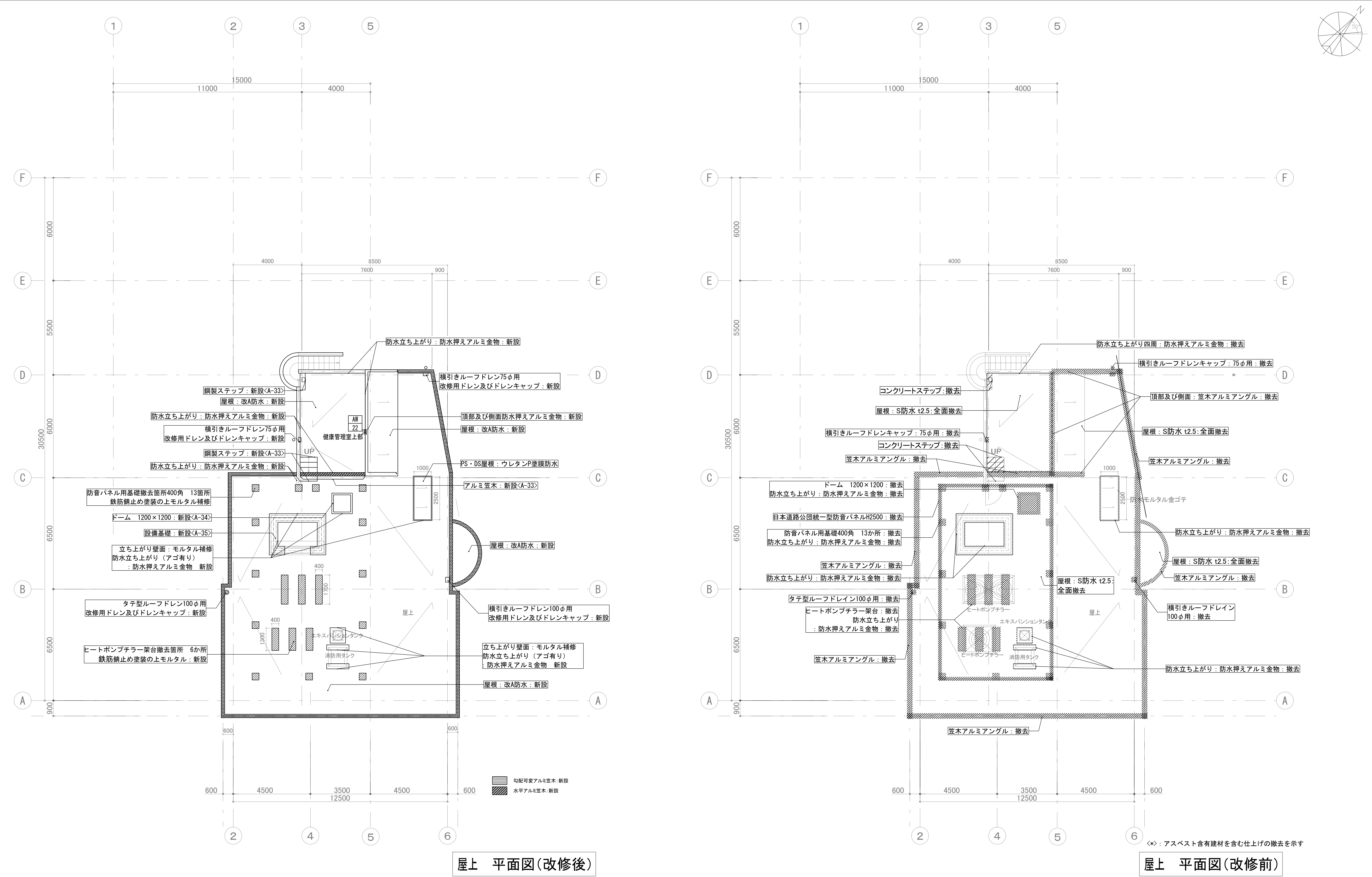


150 150 室名サイン：既存撤去のうえ、新設（改修範囲外含め全部屋共通） アクリル t5(乳白色) 点字サイン付き		2階 平面図(改修後)		2階 平面図(改修前)		<*>：アスベスト含有建材を含む仕上げの撤去を示す			
仕上げの仕様は、仕上表【A-12】及び特記仕様材料表【A-20】を参照とする。		株式会社一級建築士事務所 DEN-A	事務所登録 株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号	作成日 設計工番		件 名 三浦市勤労市民センター改修工事		区 分	番 号 A-14
			建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号 田中 克樹	査図	担当	作図	図面名称 2階平面図（改修後・前）		
							縮 尺 S=1/100(A1) S=1/200(A3)		

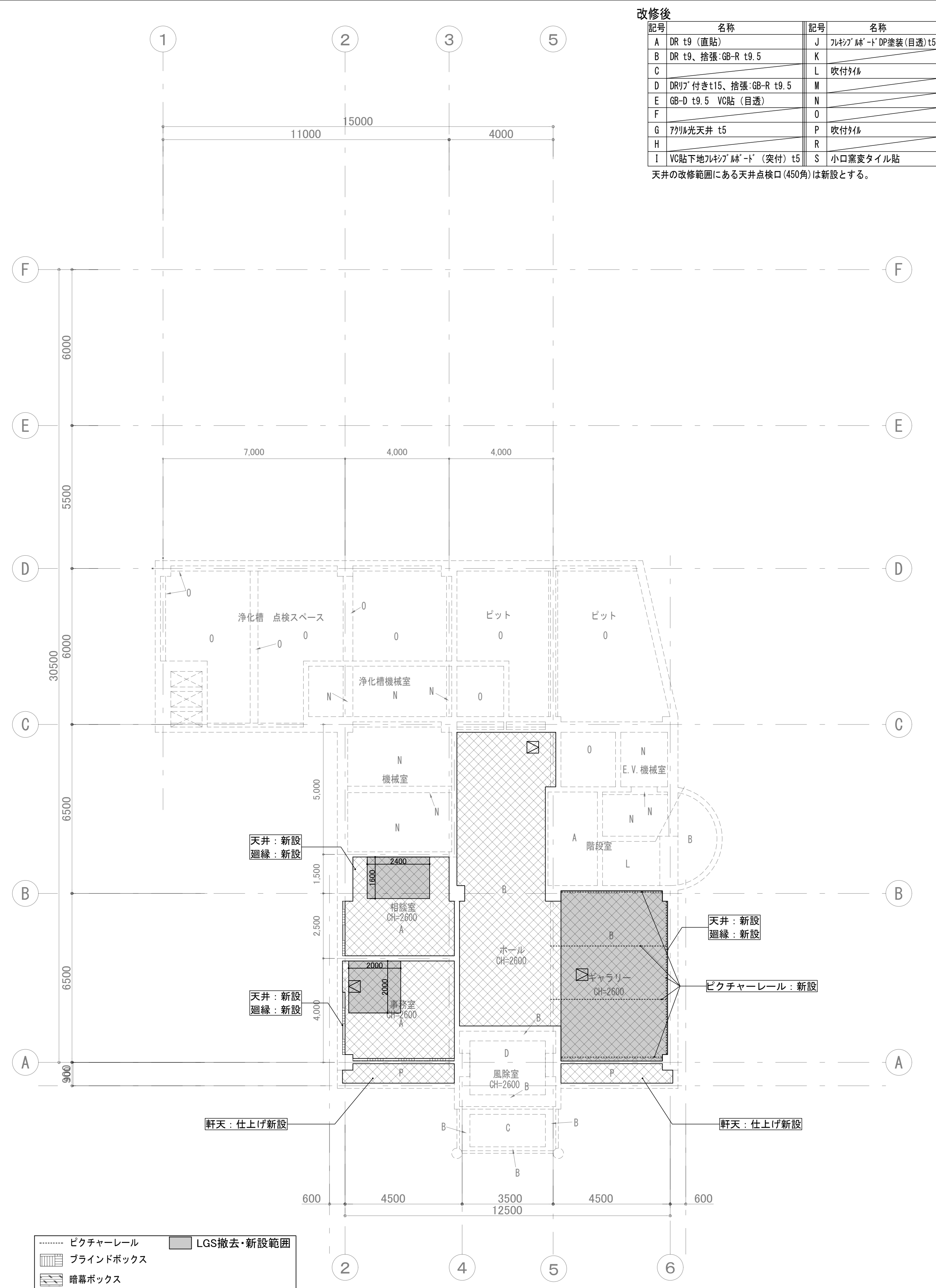


〈*〉：アスベスト含有建材を含む仕上げの撤去を示す

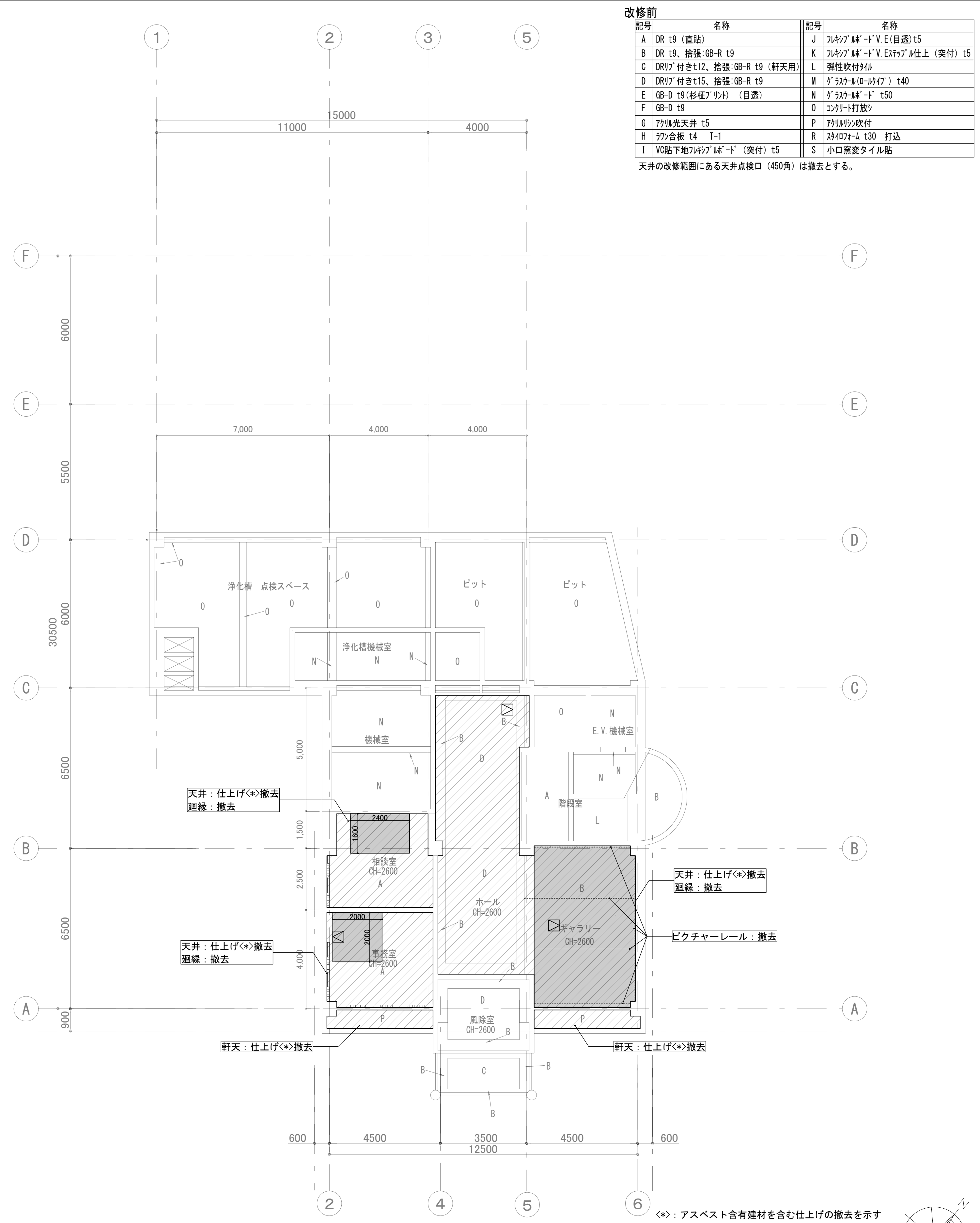
150 150 室名サイン：既存撤去のうえ、新設（改修範囲外含め全部屋共通） アクリル t5(乳白色) 点字サイン付き		3階 平面図(改修後)		3階 平面図(改修前)			
仕上げの仕様は、仕上表【A-12】及び特記仕様材料表【A-20】を参照とする。		株式会社一級建築士事務所 DEN-A	事務所登録 株式会社一級建築士事務所（県）登録 第17554号	作成日 設計工番		件 名 三浦市勤労市民センター改修工事	区 分 番 号 A-15
			建築士登録 一級建築士（大臣）登録 第170642号 田中 克樹	査図	担当 作図	図面名称 3階平面図（改修後・前） 縮 尺 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)	



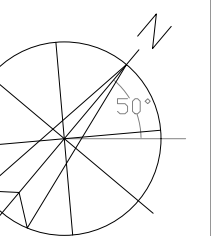
仕上げの仕様は、仕上表【A-12】及び特記仕様材料表【A-20】を参照とする。	株式会社一級建築士事務所	DEN-A	事務所登録 株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号	作成日	設計工番	件 名 三浦市勤労市民センター改修工事		区 分	番 号 A-16
			建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号 田中 克樹						
			査図		担当	作図	図面名称 R階平面図 (改修後・前)		
							縮 尺 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)		



※天井LGSの撤去・新設を伴う改修範囲は凡例によるものとする。
それ以外の範囲は仕上げのみの撤去新設とする。
※改修対象の窓や部屋にある各ブラインド及び暗幕の取外し再取付を見込むこと。



〈*〉：アスベスト含有建材を含む仕上げの撤去を示す



仕上げの仕様は、仕上表【A-12】及び特記仕様材料表【A-20】を参照とする。		株式会社一級建築士事務所 DEN-A 株式会社一級建築士事務所（県） 登録 第17554号 建築士登録 一級建築士（大臣）登録 第170642号 田中 克樹	作成日		設計工番		件 名		区 分 番 号 A-17
							三浦市勤労市民センター改修工事		
			査図	担当	作図	図面名称	縮 尺 S=1/100(A1)		
							1階天井伏図（改修後・前） S=1/200(A3)		



改修後

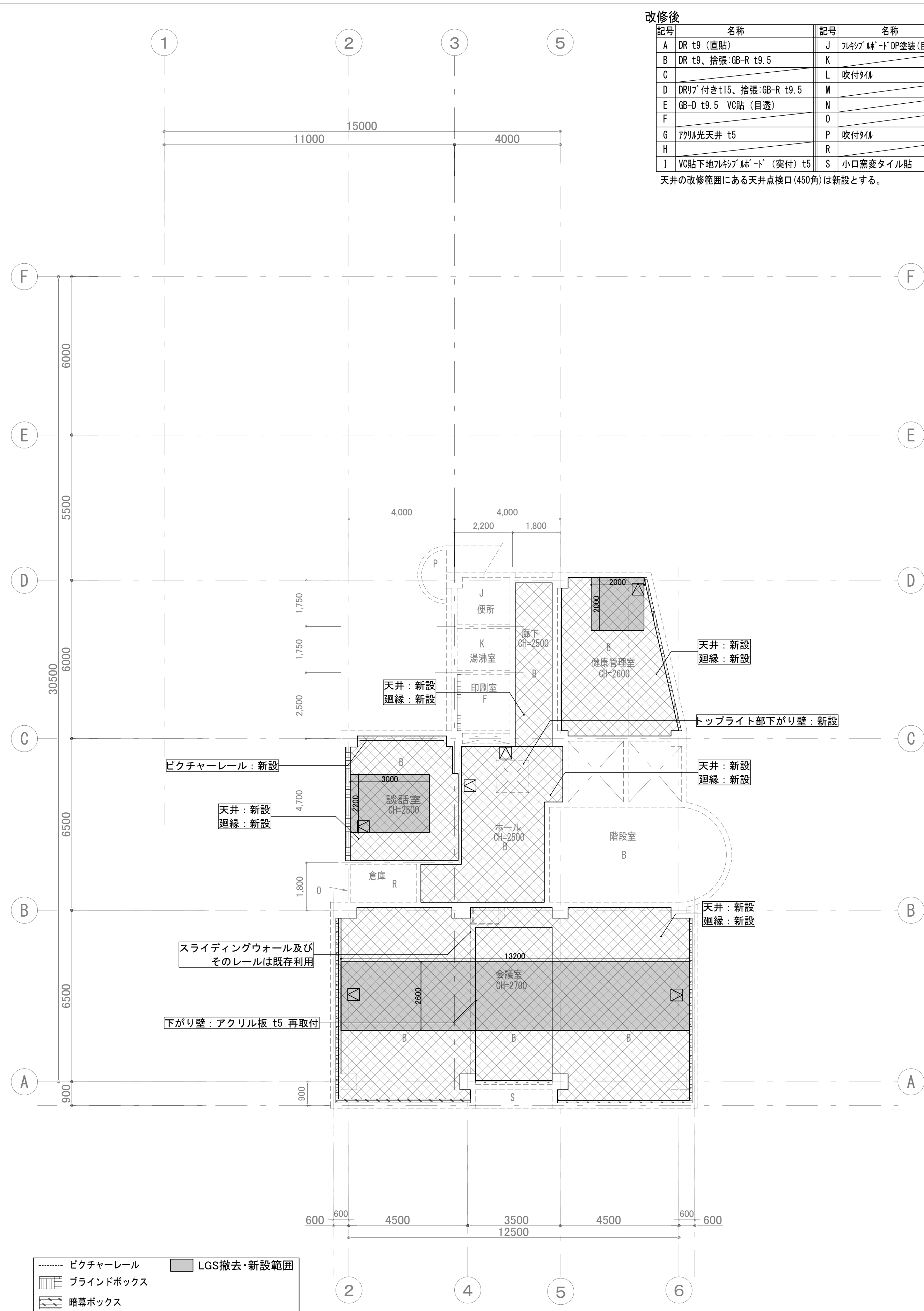
記号	名称	記号	名称
A	DR t9 (直貼)	J	ルキゾ 緑'-ト DP塗装 (目透) t5
B	DR t9、捨張:GB-R t9.5	K	
C		L	吹付タイル
D	DRリブ 付きt15、捨張:GB-R t9.5	M	
E	GB-D t9.5 VC貼 (目透)	N	
F		O	
G	アクリル光天井 t5	P	吹付タイル
H		R	
I	VC貼下地ルキゾ 緑'-ト' (突付) t5	S	小口窯変タイル貼

天井の改修範囲にある天井点検口 (450角) は新設とする。

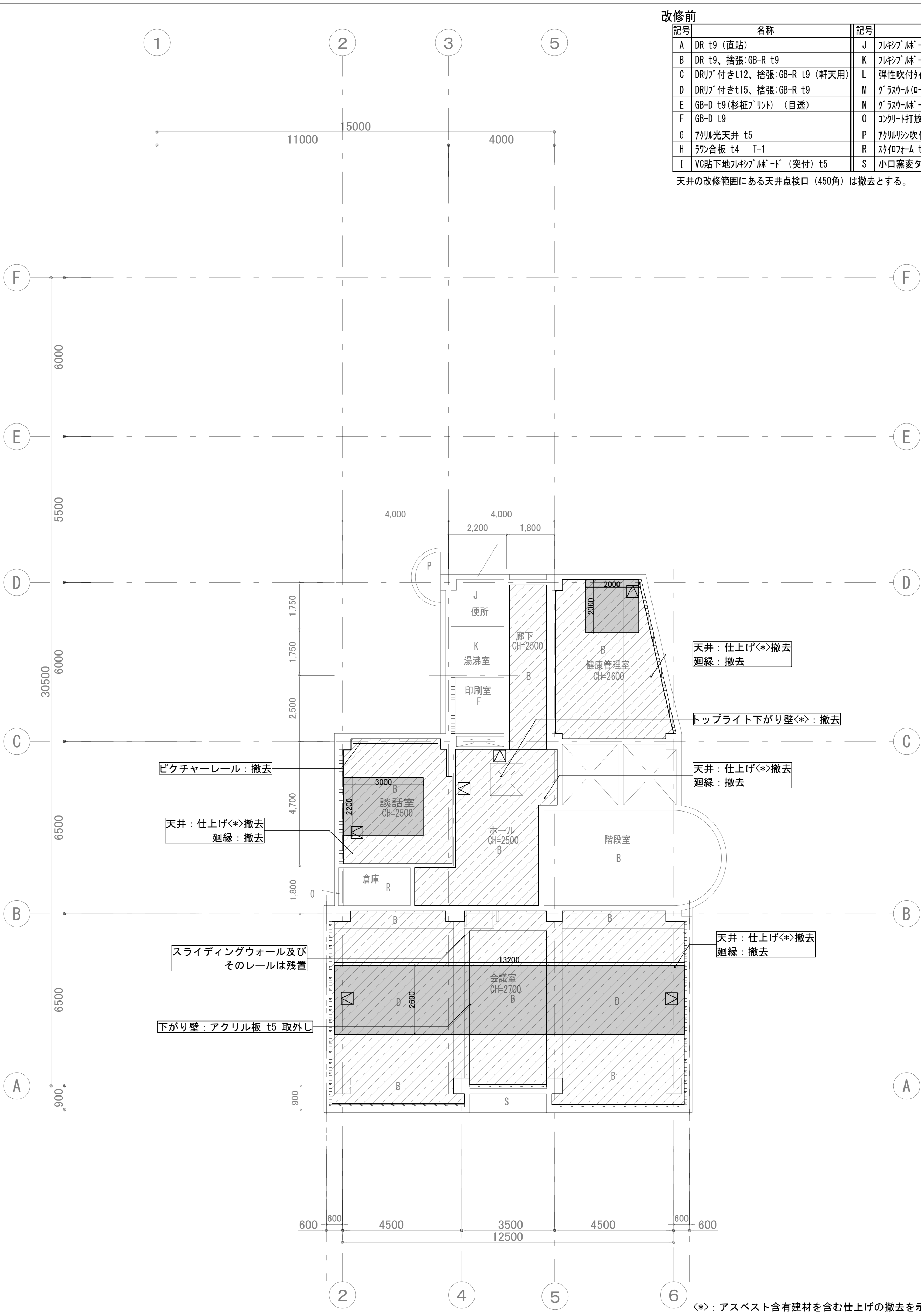
改修前

記号	名称	記号	名称
A	DR t9 (直貼)	J	ルキゾ 緑'-ト V.E (目透) t5
B	DR t9、捨張:GB-R t9	K	ルキゾ 緑'-ト V.Eステップ 黒仕上 (突付) t5
C	DRリブ 付きt12、捨張:GB-R t9 (軒天用)	L	弾性吹付タイル
D	DRリブ 付きt15、捨張:GB-R t9	M	ガラスカーテン (ロ-ルタイプ) t40
E	GB-D t9 (杉板ア リット) (目透)	N	ガラスカーテン'-ト t50
F	GB-D t9	O	コンクリート打放し
G	アクリル光天井 t5	P	アクリルリシ吹付
H	ラン合板 t4 T-1	R	スライディングウォール t30 打込
I	VC貼下地ルキゾ 緑'-ト' (突付) t5	S	小口窯変タイル貼

天井の改修範囲にある天井点検口 (450角) は撤去とする。

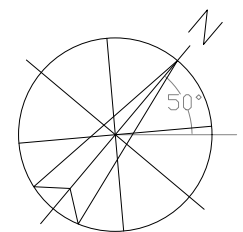


3階 天井伏図(改修後)



<※>: アスベスト含有建材を含む仕上撤去を示す

3階 天井伏図(改修前)

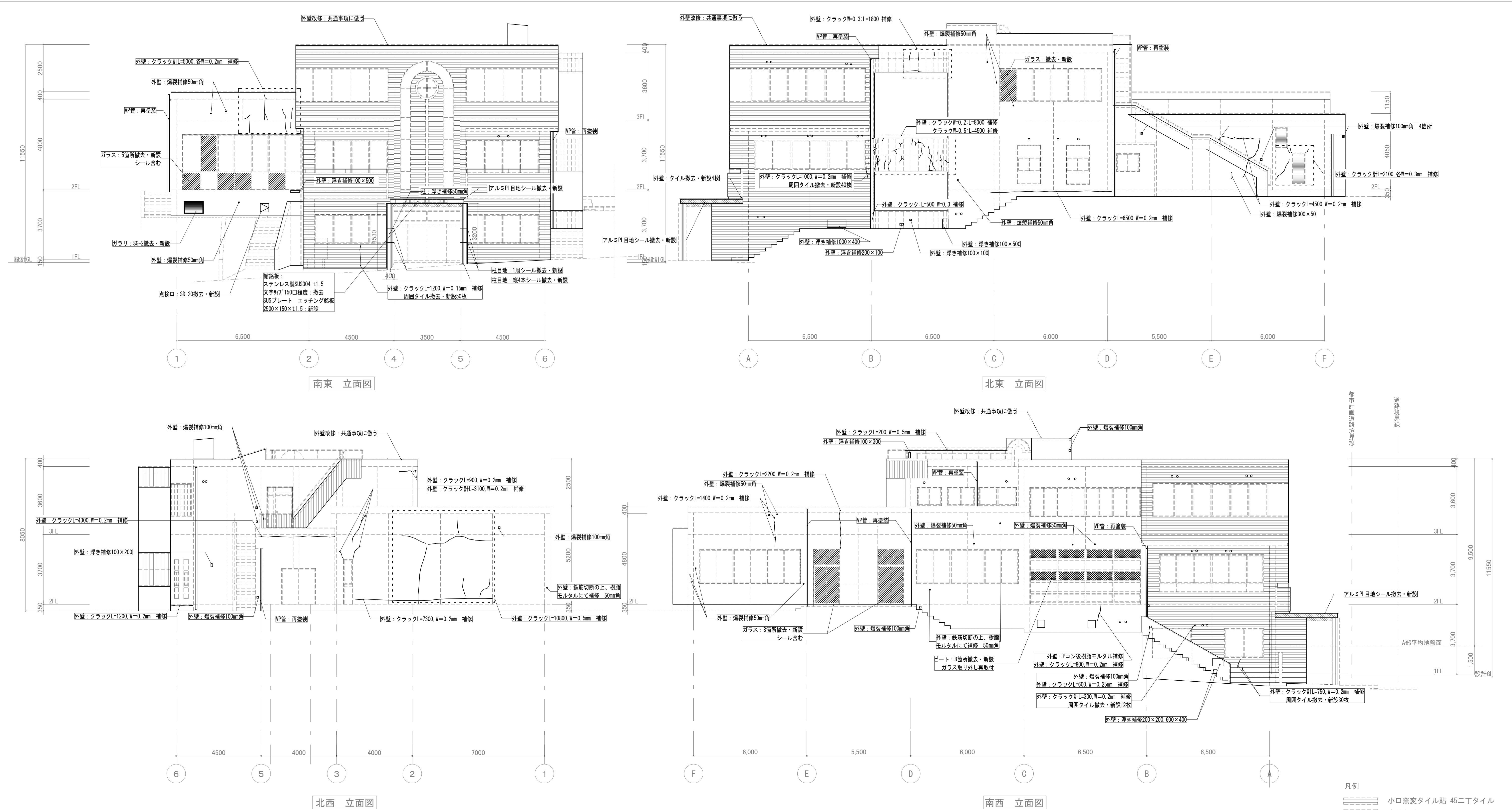


仕上りの仕様は、仕上表【A-12】及び特記仕様材料表【A-20】を参照とする。	株式会社一級建築士事務所DEN-A	事務所登録 株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号	作成日	設計工番	件 名 三浦市勤労市民センター改修工事	区 分	番 号 A-19
		建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号 田中 克樹					
		査図					
		担当					
		作図			図面名称 3階天井伏図 (改修後・前)	縮 尺 S=1/100 (A1) S=1/200 (A3)	

姿	図	AW19 清 975 975 70 900	AW20 清 1,510 900	AW21 清 1,270 900	AW22 清 Fix F F F F F 800 70 70 70 70 70 800 700	SD14 1,800 2,000	SD21 1,900 1,800	SG2 950 600
		名称 二連外倒シ窓	名称 二連外倒シ窓	名称 引違イ窓	名称 嵌メ殺シ窓	名称 両開キフラッシュ戸	名称 両開キフラッシュ戸	名称 防火ダンパー付 スチールガラリ
		使用箇所 印刷室	使用箇所 3階湯沸室	使用箇所 3階便所	使用箇所 健康管理室	使用箇所 空調機械室	使用箇所 ボンベ庫	使用箇所 浄化槽点検スペース
		員数 1	員数 1	員数 1	員数 1	員数 1	員数 1	員数 1
		材質 アルミ	材質 全左	材質 全左	材質 全左	材質 スチール	材質 スチール	材質 スチール
姿	図	AD1 改 Fix F F 880 60 1,800 60 880 2,000 410 180 エンジン撤去・新設 既存天井センサーは断線し残置 無目センサー新設 取手2箇所を撤去の上、ビス孔×4 箇所をアルミプレートにて塞ぎ	AD2 改 F F F 910 60 1,800 60 910 2,000 410 180 エンジン撤去・新設 既存天井センサーは断線し残置 無目センサー新設	AD3 清 3,780 2,407	AD4 清 1,855 70 1,855 2,407	AD5 改 F F 990 100 2,000 1,700 ガラス：撤去・新設（立面図参照）	AD6 清 F F F F 900 350 2,000 100 360	
		名称 嵌メ殺シランマ付 引分ヶ自動ドア	名称 嵌メ殺シランマ付 引分ヶ自動ドア	名称 四枚連引違イ戸	名称 二連引違イ戸	名称 嵌メ殺シランマ付 引違イ戸	名称 嵌メ殺シランマ付 片開キ戸	
		使用箇所 風除室	使用箇所 風除室	使用箇所 和室	使用箇所 料理講習室	使用箇所 大会議室	使用箇所 3階廊下	
		員数 1	員数 1	員数 1	員数 2	員数 1	員数 1	
		材質 アルミ（電解着色）	材質 全左（電解着色）	材質 全左（電解着色）	材質 全左（電解着色）	材質 全左	材質 全左	
姿	図	見込 100	見込 全左	見込 100	見込 全左	見込 70	見込 全左	
		仕上 素地	仕上 全左	仕上 全左	仕上 全左	仕上 全左	仕上 全左	
		硝子 強化ガラス	硝子 全左	硝子 ア6.8網入透明ガラス	硝子 ア6.8網入透明ガラス	硝子 ア6.8網入透明ガラス	硝子 ア3.0透明ガラス	
		金物 自動扉附属金物一式	金物 全左	金物 クレセント：附属金物一式	金物 全左	金物 全左	金物 シリンドー錠（内側カムターン付） ドアチェック（ストッパー付）、丁番127～3枚 附属金物一式	
		備考	備考	備考 額縁アングル、寄槽ステンレス ア2.0 SUS304 ステンレス網戸	備考 全左	備考 全左	備考 全左	
姿	図	SD20 450 450 450	WD6 改 2,000 900 エンジン・タッチスイッチ撤去・新設 タッチスイッチはSUS-800に取付 補助光電センサー新設（角パイプに取付） 表示灯は撤去の上、SUSプレート塞ぎ		D1 1020 360 770 2000 494 600 550 600 120 100 600 100	D2 1035 360 2000 468 600 715 600 575 600 80		
		名称 片開キフラッシュ戸	名称 一本引ベニヤフラッシュ戸（額付・ガラリ付）		名称 トイレブース	名称 トイレブース		
		使用箇所 浄化槽点検スペース	使用箇所 身障者便所		使用箇所 男子便所	使用箇所 女子便所		
		員数 1	員数 1		員数 1	員数 1		
		材質 スチール	材質 全左		材質 ペーパーコア	材質 全左		
		見込 86	見込 全左		見込 40	見込 全左		
姿	図	仕上 DP塗装 フッ素焼付塗装	仕上 全左		仕上 メラミン化粧板 笠木・エッジ：アルミ	仕上 全左		
		硝子 ビポットヒンジ	硝子		硝子 表示錠（抗ウイルス仕様）、帽子掛戸当り サポート：ステンレス	硝子 全左		
		金物 シリンドー錠	金物 自動ドア附属金物一式、タッチスイッチ 〔表示灯〕撤去		金物 サポート：ステンレス	金物 全左		
		備考	備考		備考	備考		
姿	図	D3 1015 360 2000 140 600 1185	D4 900 20 1,800 100 550 790 300 100	F1 1,720 1,800	S1 5,330 1,927	S2 3,800 2,417	S3 850 1,310	
		名称 トイレブース	名称 トイレブース	名称 引違イフスマ	名称 六本連引違イ障子	名称 四本連引違イ障子		
		使用箇所 女子便所	使用箇所 3階便所	使用箇所 和室	使用箇所 和室	使用箇所 和室		
		員数 1	員数 1	員数 1	員数 1	員数 1		
		材質 ペーパーコア	材質 全左	材質 漆*	材質 スプルス	材質 全左		
		見込 40	見込 全左	見込 25	見込 33	見込 全左		
姿	図	仕上 メラミン化粧板 笠木・エッジ：アルミ	仕上 全左	仕上 新島ノ子紙	仕上	仕上		
		硝子 表示錠（抗ウイルス仕様）、帽子掛戸当り サポート：ステンレス	硝子 全左	硝子 手掛	硝子 舟底引手	硝子 舟底引手		
		金物 全左	金物 全左	金物	金物	金物 全左		
		備考	備考	備考	備考	備考		
ア3.0 透明ガラス ア6.8 網入型ガラス A.S.P ア30.0アルミサンドイッチパネル			ア3.0 スリガラス ア6.8 網入透明ガラス					
ガラスの撤去・新設箇所は立面図による。また撤去新設箇所はシール又はビートの撤去新設を見込むこと。 すべてのアルミ製外部建具のガラス部はシールの撤去新設を見込むこと。			事務所登録 株式会社一級建築士事務所（県）登録 第17554号 建築士登録 一級建築士（大臣）登録 第170642号 田中 克樹					
株式会社一級建築士事務所			作成日 設計工番					
DEN-A			件名 三浦市勤労市民センター改修工事					
査図			図面名称 建具表（改修後）2					
担当			縮尺					
作図			区分					
番号			A-22					

姿 図	AW 4 <	
-----	---	--

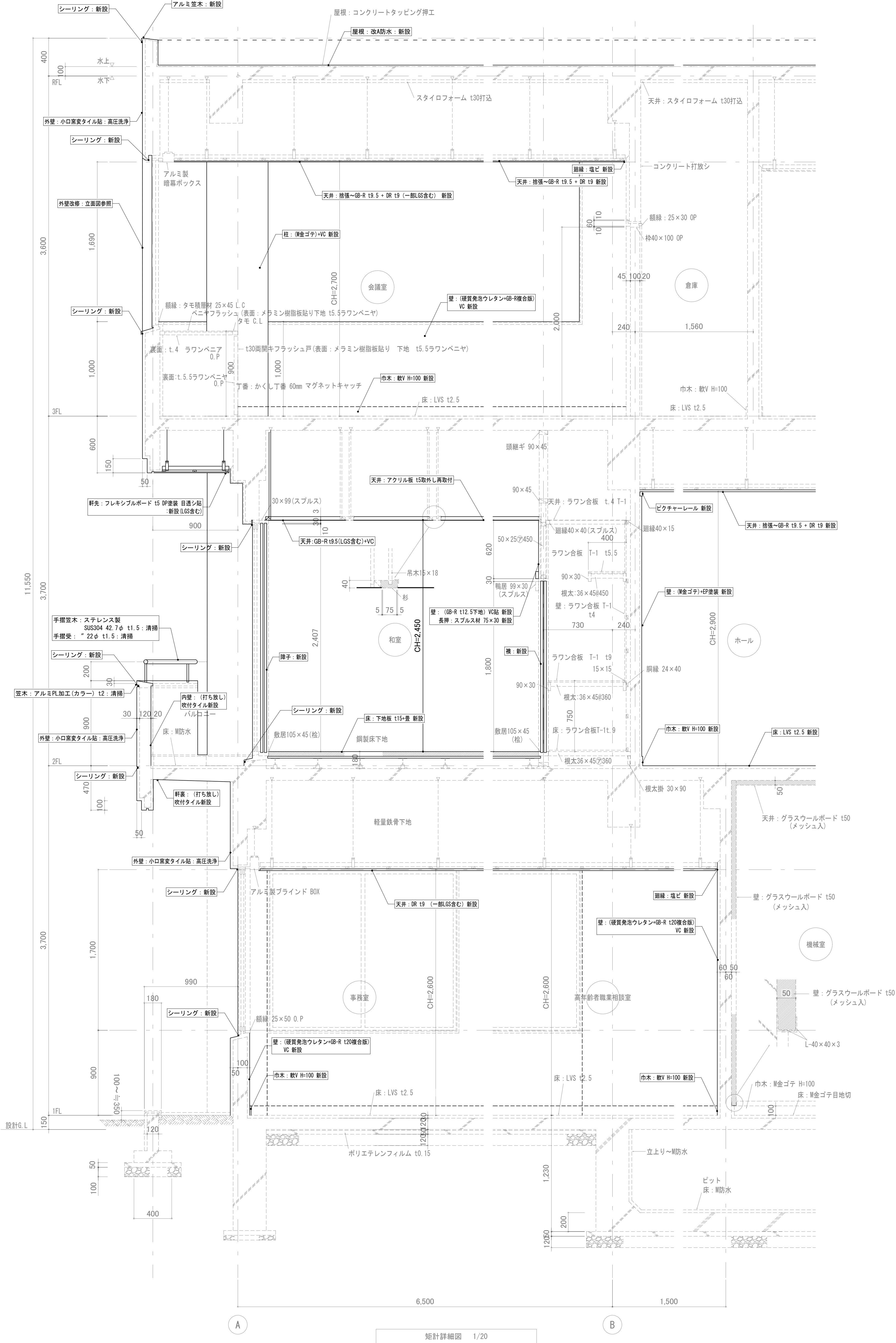
ガラスの撤去・新設箇所は立面図による。また撤去新設箇所はシール又はビートの撤去新設を見込むこと。		株式会社一級建築士事務所 DEN-A	事務所登録 株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号	作成日	設計工番	件 名 三浦市勤労市民センター改修工事	区 分	番 号 A-23		
すべてのアルミ製外部建具のガラス部はシールの撤去新設を見込むこと。			建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号 田中 克樹	査図	担当	作図			図面名称 建具表 (撤去図)	縮 尺



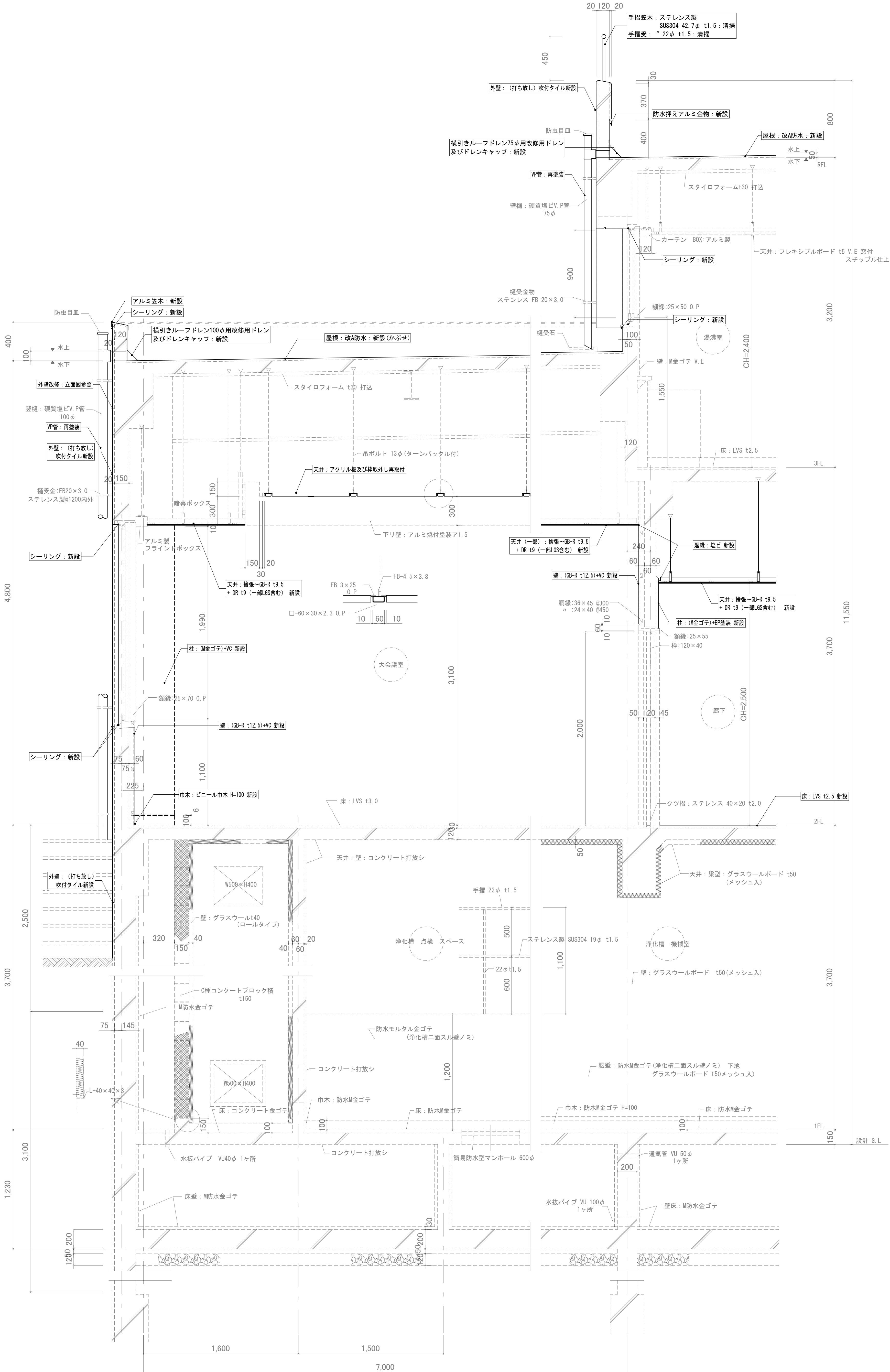
共通事項			
タイル	電気機器、配線などを養生のうえ高圧洗浄とする。 下地の状況や、ひび割れ箇所の調査を行い、監理者と施工者と協議の上、貼替え工法及び範囲を最終決定すること。	鉄部塗装	外部鉄部の改修箇所は洗浄(汚れ等は素地を傷つけないよう除去)および既存塗膜を除去し錆止めの上、DP塗装替え(フッ素樹脂系)とする
吹付タイル	タイル同様に養生の上、脆弱部及び補修部は既存塗膜を高圧洗浄により除去すること。なお高圧洗浄で除去できない汚れはケレンすること。上記以外の範囲は同養生の上、水洗いとする。下地調整の上、再塗装(シリコン樹脂系)とする。	電蝕対策	異種金属が取合う部分については、適切な電蝕対策を施すこと。
ステンレス	チリやほこりなど、中性洗剤にてふき取り洗い流すこと。	防錆対策	特記なき限り、外気に接する鉄部・鋼材・金属材料(下地も含む)は溶融亜鉛メッキ処理又はステンレス製とする
アルミプレート	洗浄にあたっては、ほこり等の汚れを柔らかいブラシ等で除去のうえ、水で洗い流すこと。	ペントキャップ等	ペントキャップ、フード及び配管はDP塗装替え(フッ素樹脂系)とする
アルミ製建具	改修範囲に含まれるアルミ製建具はガラス部も含めて洗浄とする。 洗浄にあたっては、ほこり等の汚れを柔らかいブラシ等で除去のうえ、水で洗い流すこと。	塩ビ管	高圧洗浄および目荒らしのうえ、DP塗装(フッ素樹脂系)とする。
		コンクリート立ち上がり	高圧洗浄・汚れを除去、下地調整のうえDP塗装(フッ素樹脂系)とする。

タイル部 補修区分		吹付タイル部 補修区分[A-09参照]			
クラック		周囲のタイル撤去後、Uカットシール充填工法にて補修。 補修後はタイル貼替え工法にて貼替え。	クラック	0.5mm未満	CH-2Iにて補修
				0.5mm以上	CH-3AIにて補修
浮き	0.25㎡未満	注入口付アンカーピンニング注入工法にて部分エポキシ樹脂注入にて補修。 注入口付アンカーピンニング注入工法にて全面エポキシ樹脂注入にて補修。	爆裂	0.25㎡未満	CK-1Iにて補修
	0.25㎡以上			0.25㎡以上	充填工法(エポキシ樹脂モルタル)にて補修 モルタル塗り替え工法にて補修

		事務所登録 株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号		作成日	設計工番	件 名 三浦市勤労市民センター改修工事	区 分	番 号
		建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号 田中 克樹	査図	担当	作図	図面名称 縮 尺 S=1/100(A1) S=1/200(A3)		A-24
株式会社一級建築士事務所		DEN-A						



図み文字は改修内容を示す。それ以外は既存の仕様を示す。なお（）内の仕様は既存利用の仕様を示す。 外壁の仕上の改修内容については、立面図による。				区 分	
株式会社一級建築士事務所 DEN-A				A-26	
事務所登録 株式会社一級建築士事務所(果) 登録 第17554号 建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号 田中 克樹				作 成 日	
査 図				設計工番	
担 当				件 名	
作 図				三浦市勤労市民センター改修工事	
図面名称 矩計図 2				縮 尺 S=1/20(A) S=1/40(A3)	



図み文字は改修内容を示す。それ以外は既存の仕様を示す。なお（）内の仕様は既存利用の仕様を示す。 外壁の仕上げの改修内容については、立面図による。															
株式会社一級建築士事務所			DEN-A			株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号 株式会社一級建築士 登録 第170642号 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号 田中 克樹			査図	担当	作図	図面名称 矩計図 3	縮 尺 S=1/20(A) S=1/40(A3)	区 分	番 号 A-27

